

北海道型IR道民フォーラム ーカジノを含む統合型リゾート(IR)を考えるー

現在、国会で審議されている特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案において、特定複合観光施設（いわゆるIR(Integrated Resort)）は、「カジノ施設及び会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設その他の観光の振興に寄与すると認められる施設が一体となっている施設であって、民間事業者が設置及び運営をするもの」と規定されていますが、IRは、観光振興、地域経済の活性化、雇用の創出などの効果が期待できる一方で、治安の悪化やギャンブル依存症など負の側面についても様々な議論があります。こうしたことから、道では、IR導入に向けた国の動向や本道において複数地域で誘致に向けた検討が行われていることなどを踏まえ、この度、IRに関する諸外国の事例や北海道におけるIRを検討するに当たった課題や留意点などについて、情報提供を行い道民の皆様にIRへの理解を深めるためのフォーラムを道内6圏域で開催いたします。

▶開催日時・会場

平成26年10月31日（金）13:30～15:40

北見経済センター 1F1号室 北見市北3条東1丁目2番地

▶主催 北海道

▶プログラム

1. 開会
主催者あいさつ等
・北海道経済部観光局
2. 報告①
「IRとは何か～北海道型IRの可能性と留意点」
【講師】(株)国際カジノ研究所 所長 木曾 崇（きそ たかし）氏
【講師のプロフィール】
ネバダ大学ラスベガス校ホテル経営学部首席卒業（カジノ経営学専攻）。米国大手カジノ事業者での会計監査職を経て、帰国。2004年、エンタテインメントビジネス総合研究所へ入社し、翌2005年には早稲田大学アミューズメント総合研究所へ一部出向。2011年に国際カジノ研究所を設立し、所長に就任。2014年よりアジア圏最大のカジノ国際会議&展示会であるGlobal Gaming Expo Asiaのアドバイザーボード委員を務める。
3. 報告②
ギャンブル依存症について
【講師】医療法人こぶし 植苗病院
院長 芦澤 健（あしざわ たけし）氏
【講師のプロフィール】
1984年、札幌医科大学を卒業。浦河赤十字病院等の精神科病院勤務を経て、1993年文部科学省の在外研究員としてフィンランドALKO研究所に留学。札幌医科大学神経精神医学 講座講師、旭山病院副院長を経て、現在、医療法人こぶし植苗病院院長を務める。
学会等：札幌医科大学神経精神医学講座 臨床教授、日本アルコール・薬物学会評議員、日本森田療法学会理事、第28回日本森田療法学会会長、NPO法人北海道ダルク理事長
4. 質疑応答